



平成 21 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 オリコン株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒
(コード番号 4800 大証ヘラクレス市場)
問い合わせ先 執行役員企業広報部長 日高輝明
T E L 03-3405-5252 (代表)

営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期において、下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（投資事業組合運用損）の計上（連結及び個別）

当社が資産運用目的で出資している投資事業組合の直近の決算書に基づき、当社の持分相当額が減少したことによって、投資事業組合投資損失 48 百万円を営業外費用として計上いたします。そのうち 20 百万円については、第 3 四半期累計期間ですでに計上済みであります。

2. 特別損失（のれんの減損損失）の計上（連結）

当社は、当社グループのモバイル事業において、着信メロディなど携帯電話向けに配信するデジタルコンテンツファイルの主要制作発注先であった株式会社シー・ピー・ユー（以下、C 社）を株式取得によって平成 17 年 2 月 1 日付で子会社化しました。その後、グループ内での経営の効率化を図る目的で、当社の子会社で P C 向けのデジタルコンテンツを取り扱うオリコン D D 株式会社が C 社を平成 17 年 12 月 1 日付で吸収合併し、C 社の事業はオリコン D D 株式会社でのデジタルコンテンツ事業部となって、現在に至っております。

現在、デジタルコンテンツ事業部では、着信メロディファイルが主要な商品ですが、着信メロディ配信サービスの市場全体が縮小傾向を続けていることから、デジタルコンテンツ事業部の将来キャッシュフローを決算の過程において精査した結果、C 社の取得に関わるのれんの未償却残高 124 百万円のうち 52 百万円の減損処理を行うことといたしました。これによって、減損損失 52 百万円を特別損失として計上いたしますが、実質、前倒しで償却したこととなり、平成 22 年 3 月期以降の償却負担が軽減されることとなります。

3. 業績に与える影響

平成 21 年 3 月期の業績への影響につきましては、本日、開示いたしました「平成 21 年 3 月期決算短信」をご参照下さい。

以上